

特 集

# 「自殺対策」の いま



わが国では、2006年の自殺対策基本法成立以降の国を挙げた総合的な対策や経済の安定により、年間の自殺者数が2万人にまで減少した。しかしながら、2020年はコロナ禍の影響により2009年以来となる増加に転じ、なお状況は深刻さを増している。また、近年ではSNSによる中傷などの新たな課題も露見している。本特集では、現在における課題を整理し、自治体に求められる自殺予防について考える。

- 
- 「自殺対策」のいま コロナ禍の影響と自治体における方向性
  - 群馬県の取り組み 保健師主導のゲートキーパー養成と若年への自殺対策
  - 長野県の取り組み 生きることの包括的な支援としての自殺対策
  - 八尾市の取り組み “ほっとかれへん”を合言葉にした部局横断的な自殺対策推進
  - 藤里町の取り組み 地域参加型の自殺対策